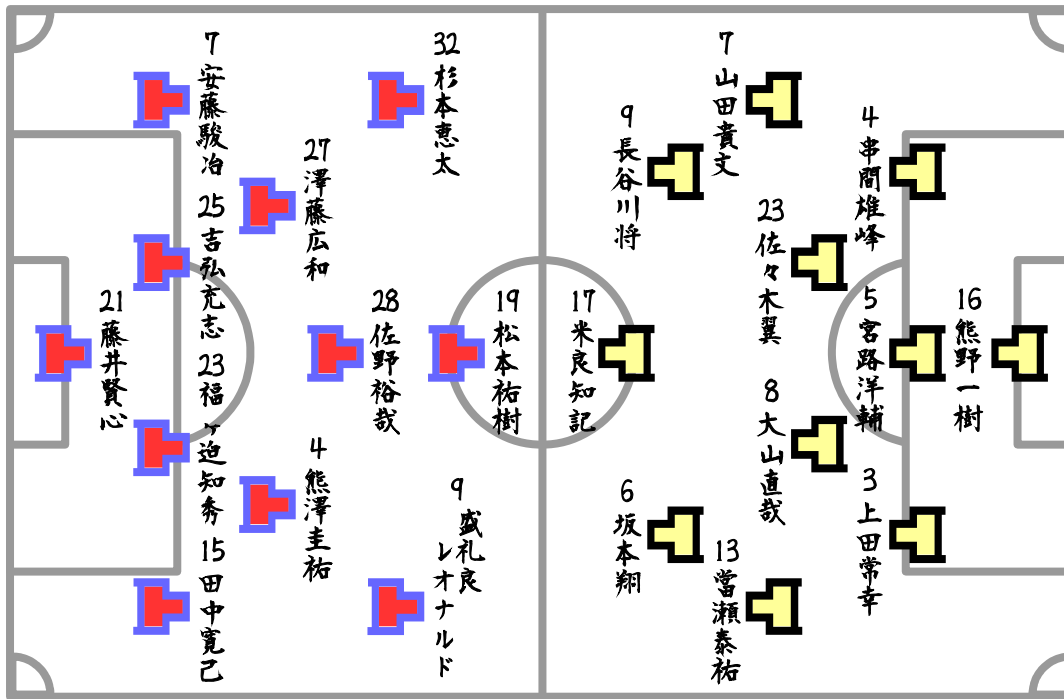




FCマルヤス岡崎

【本拠地】三河国 岡崎市【監督】大江基允
ファーストステージ ○勝○分一敗 勝ち点○十五位



平成29年 第二次蹴球合戦 予想布陣図(F Cマルヤス岡崎蔵)
[会場]名古屋市港サッカー場 [ボールパーソン]岡崎城西高校
【試合運営へのご協力を賜り誠にありがとうございます】



ホンダロックSC

第十九回 JFL ファーストステージ第二節
FCマルヤス岡崎 対 ホンダロックSC

FCマルヤス岡崎
ホームで幸先良い船出なるか

マルヤス岡崎蹴球新聞

発行人
スタジアム芸人
イケザえもん
@ikezaemon01



ホンダロックSC

チーム紹介

堅牢
堅固

株式会社ホンダロックを母体とする企業チーム。昨年はチーム史上最高となる年間四位という成績を収めた。躍進の原動力はリーグ最少失点の守備陣だ。会社は自動車、セキュリティ製品を生産しており、社業同様チームの守りにも定評がある。

エンジン始動
鍵をこじ開ける

願離穢土
欣求淨土

第十九回日本フットボールリーグ開幕した。マルヤス留。昨年培った経験がほぼ残ま生かせるのは大きなメリットだ。更に、名古屋でJ1の舞台を戦ったスピードスター杉本恵太ら七名の選手たちが新加入。新たに就任した大江監督の下、新旧融合で一桁順位を目指す。

ロックは二名の選手が新加入。最小限の補強だが、昨年の大躍進を考えればこれで十分だろう。これまでの強さそのままだ。今年を迎えたことが何よりも脅威だ。無敗記録は年を跨いで十二まで伸びていく。飛ぶ鳥は落ちる気配がない。一筋縄ではいかない。両チームとも開幕戦では白星を逃した。スタースイッチを押した。エンジンを全開にせよ。勝利をつかみ取れ。

日向の不死鳥
伊東祐兵

日向伊東氏十三代当主の伊東祐兵(すけたか)。彼の波瀾万丈の生涯には愛知、そして徳川家康とのつながりがあった。伊東氏は本拠地の佐土原(現在の宮崎市佐土原町)を「九州の小京都」と呼ばれるまでに発展させた。だが、薩摩の島津氏との対立の中で徐々に没落。伊肥(おび)城の城主であった祐兵も島津氏の侵攻を受け豊後へ逃れ、更に伊予へ流れた。窮乏の日々の中、転機が訪れる。尾張国岩倉出身で祐兵の親戚にあたる伊東長実が助け舟を出したのである。祐兵は長実の斡旋で豊臣秀吉の与力として織田家に仕官。その後の活躍で大名として復権し、ついにかつての居城・伊肥城を取り戻した。豊臣恩顧である祐兵は関ヶ原の戦いで西軍に付く。だが病のため自らは出陣せず、嫡男の祐慶(すけのり)に命じ、伊肥で軍備を整えた。更に徳川家康に通じ、事実上の東軍となる。伊東家は西軍武将将で宮崎城主の高橋元種を攻めるが、思わぬ事態が起こった。元種が東軍へ寝返っていたことを知らず、伊東軍が宮崎城へ攻め込んでしまったのだ。家康は戦後処理で城を返還させたが、その働きを認め領地は安堵。以後、伊東家は藩主として伊肥を治めた。伊東祐兵の不屈の精神は、ホンダロックSCのエンブレムに象られたフェニックスを彷彿とさせる。「日向の不死鳥」と呼ぶに相応しい名将であろう。

本日のイベント

十三時
試合開始

【グレート家康公「葵」武将隊 来場】

今年も武将隊の皆さんが登場。迫力あるパフォーマンスにご注目。試合前にはご来場者の皆様をお出迎え。

「お出迎え」

刻 開場後

於 入場口付近

「演武披露」

刻 十二時四十分

於 ピッチサイド

【ケータリングカー来場】

おなじみ黄色いケータリングカー。美味。食べたい。

於 スロープ付近

【新グッズ登場】

グッズショップに新商品が登場します。欲しい。

於 コンコース内

【選手・スタッフによるお見送り】

今シーズンもご来場の皆様をお見送りいたします。

刻 試合終了後
於 入場口付近

【試合後インタビュー】

FCマルヤス岡崎が勝利した場合に実施します。

刻 試合終了後
於 ピッチサイド

次回ホームゲーム 三月十九日 日曜日 十三時

対 ソニー仙台FC 於 名古屋市港サッカー場

公式サイト



公式ブログ



facebook



?????



薬

DRUG STRIKER
マイモトイタキLEOLAND
Brazilian Amusement Park

柿とクコの実の甘み
かきくこまんじゅう
⑧ 杉山製菓
※主水セレクション金賞受賞予定